

一般質問／トピックス



在宅避難者への
水や食料等の提供は

問 在宅避難者に対して、避難所に行けば水、食料、情報等が受け取れるという広報をしなかった理由は何か。

答 指定避難所の避難者に対する業務で手いっぱいだった。

問 在宅避難者の状況把握をしようとはしていないのか。

答 被災者台帳を基に関係機関等と協力して調査をしたい。

再発言 罹災証明書を発行した人しか被災者台帳に載らないということだが、罹災証明書の申請すらできていない被災者の把握、支援を求める。

市民の生命と財産を守る
ためにマンパワーの充実を

問 大規模災害発生時の市職

員の体制整備は大事な防災・減災対策の一環だが、職員数は削減の方向であり、市民の生活実態もつかめないのでは。

答 類似団体と比較するといまだに多く、職員配置の適正化には今後も取り組んでいく。

再発言 住民に身近な業務が民営化や指定管理に置き換わる中、災害時の救援、復興に当たる人員は圧倒的に不足しており、自治体職員削減の流れから、災害時の住民の安全確保に直結するマンパワー充実への方針転換を要望する。

令和2年7月豪雨災害への対応策等について
全員協議会を開催

令和2年8月18日に全員協議会を開きました。全員協議会とは全議員が出席し、市政全般に関わる政策等についての協議を行うために開く会議です。今回は新型コロナウイルス感染症対策のため会場は議場を使い3密を避けました。



全員協議会の冒頭では、7月豪雨災害によって亡くなられた方々のご冥福と被災地の1日も早い復興を願い出席者全員で黙とうをささげました。この後、関市長の挨拶を受け①大牟田市の被害状況について②三川ポンプ場について③被災者への対応状況について聞いた後、支援策についての説明も受けました。

各議員から出た
主な意見・要望など

●冠水した箇所は市内全域にあり国や県で対応できない部分は市で対策を取ってほ

しい。

- 生活再建の母体となる住宅再建に向け、家屋解体等の支援制度についてははっきり周知してほしい。
 - 市独自での支援策で床下浸水の方への支援の検討してほしい。
 - 今後、罹災証明が出ても市独自の減免については遑って適応されることなど市民への情報提供に努めてほしい。
- などの意見・要望等が出され、9月議会の質疑質問でも議論を交わしました。

インフォメーション

■次の定例会は12月です

詳細については、市議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。インターネットでも、生中継、過去の録画(過去5年間分)を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで12月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。ホームページでも12月上旬から閲覧・検索できます。